

どう生かすか まちの税金

平成28年度予算総額 778億円を審議・可決

予算総額 778億円 前年比約200億円の減

本議会の平成28年度予算審査に当たり冒頭・市長より「市政執行についての所信」があり、基本方針として①復興の具現化と新たな東松島市の構築②地方財政をめぐる動きと当初予算の編成。③平成28年度市政運営の基本方針が示された。

また分野別施策として①郷土の自然を保全し、資源を大切に②命を守る備えに地域で取組む、安全で安心なまち③健康意識が高く、誰もがいつまでも元気に暮らせる④子どもたちが伸びやかに育つ⑤生涯を通じて学び、習得し、実践できる⑥快適で便利な誰もが住み続けたい⑦働きがいのある魅力的な産業がある⑧市民と行政が信頼で結ばれる。などの目標による、まちづくりも示された。

これらの事業執行に要する予算は、一般会計と国民健康保険会計ほか復興にかかわる特別会計を含め10会計で成り立っています。タイトルの示すように大幅な減となっている。その要因は復旧・復興が進みつつあり、国の復興交付金ほか国の別枠支援が、平時モードへの回帰により減額されたことが大きいと言える。詳細は3ページ下段の平成28年度各種会計のあらましを参照下さい。



▲平成28年度各種予算の概要について説明する阿部市長

総括質疑 Q & A

平成28年度 予算編成について

復興クラブ

小野 恵章 議員

Q 一般財源に依存した予算事業で大きく見直した事業は。

A 公共施設、道路農道等の維持補修経費について、管理、財政計画との整合性を図りながら対応していく。

Q 復興事業で重点化されない事業は。

A 一時的、緊急的対応であった雇用創出事業については、事業の縮小を行う。

Q 法人市民税の見込みを大幅な減額とした理由は。

A 事業所得の落ち込みから、法人税割課税分が見込みに反し極端な減少にあること。

Q 財務常任委員会
決算の指摘は。
A 予算に反映させていく。

平成28年度 市予算について

清風 五野井敏夫 議員

Q 28年度の歳入予算の上乗せと今後の補正についての対応は。

A 財源不足への対応は課税客体の的確な把握と徴収一元化である程度対処する。

Q 歳出で普通交付税の減額に伴い、経常経費の抑制の他一般財源に依存する事業は見直すとして市長は述べているが投資的事業の大幅削減とは。

A 市単独事業については、事業の内容を精査し必要性と費用対効果が最大限発揮できるものを優先して予算編成している。

Q 国県補助金が期待できない高盛土道路北側の避難道路整備について。

A 社会資本整備交付金事業復興枠で大曲堀堀線、牛網下江戸原線、中田堀堀線等を整備する。

平成28年度 予算について

清新会

熊谷 昌崇 議員

Q 本市においては、国勢調査で人口が4万人を下回り、東日本大震災後の人口の流出が止まらない。定住人口を増やす為に企業誘致等を強力に推し進めるべきでは。

A 国内企業の2万社へのアンケートを実施して、ターゲットを絞り効率的に企業訪問を行う。

Q 少子高齢化による税収の減少を鑑み、ふるさと納税の返礼品を工夫し、差別化し、競争力をもって独自財源の確保を推し進めるべきでは。

A 市独自の自主財源の確保については、ふるさと納税を積極的に活用し、寄付金額の多い自治体における取組内容を比較検討、分析し、返礼品の見直しも検討する。